

奴国について調べてみよう！！

「春日市文化財ガイドブック なるほどかすがの文化財」を見ながらすると分かりやすいよ！

なこく 奴国ってどんな国？



奴国って聞いたことはあるけど...
どんな国だったのかな？

弥生時代になると米づくりがはじまって、
日本にちいさな国がたくさんできたよね。
奴国は、福岡平野にできたひとつの国だよ。



奴国という国は、今から 2000 年ぐらい前に栄えた国です。春日市を中心とする福岡平野一帯のことを「奴国」と呼んでいました。奴国は、大陸から進んだ文化をいち早く取り入れて発展しました。

古代中国の歴史書には、奴国は他の国に先がけて中国の皇帝に使いを送り、57年に金印を与えられたと記されています。それがみんなも知っている「漢委奴国王」の金印です。

この金印をもらった王様の数世代前の奴国王のお墓からは、「草葉文鏡」と呼ばれる大きな鏡が見つかっています。直径が20cm以上の鏡で、奴国の王様の力の大きさを表しています。



奴国王のお墓から
見つかった直径
20cm以上ある鏡
の名前は？

〔 草葉文鏡 〕



奴国の中心地が資料館周辺
だったってホント？

資料館の周辺では、王族のお墓や青銅器やガラスをつくる工房の跡も見つかったんだ。
中国との交流で新しい文化を取り入れてたんだよ！



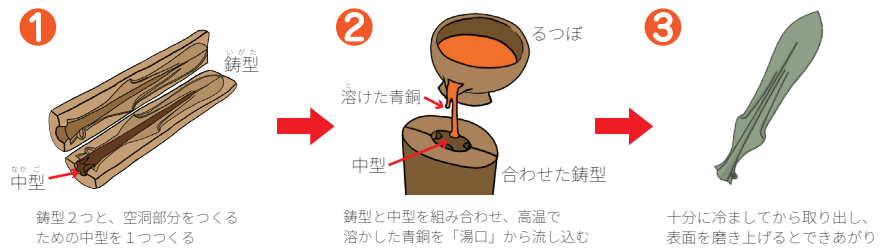
せいどうき こうぼう
青銅器工房でなにをつくっていたの？



青銅器をつくる様子（想像図）

石を彫り込んでつくった鋳型をあわせて、その中に銅とすずと鉛の合金（青銅）を流し込んでつくるのが青銅器です。青銅器をつくるには、高度な技術や大陸産の原料が必要で、当時の最先端技術でした。青銅器工房では、銅戈や銅矛、銅鏡などがつくられていました。

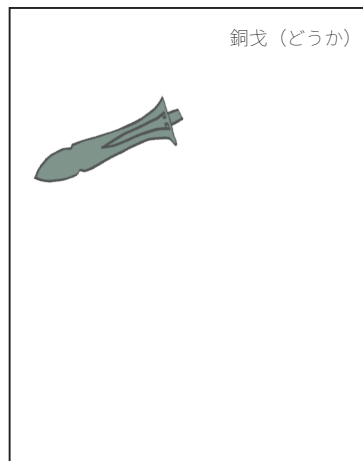
青銅器のつくり方～銅矛編～



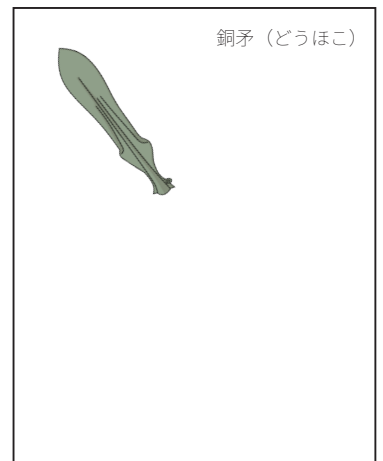
石でつくられた型だね。
たくさん彫り込みがあるね。
これは何をつくる型だろう？



どんな使い方をしていたのかな？しらべて、絵でかいてみよう！
「なるほどかすがの文化財」の22ページを見てみよう

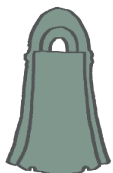


銅戈（どうか）



銅矛（どうぼこ）

他にもこんな青銅器をつくっていたよ。



どうたく
銅鐸

弥生時代につくられたカネ形
の青銅器で、お祭り（まつり）でつかう
道具でした。



どうきよう
銅鏡

弥生時代にお祭りなどで使う
青銅でつくられた鏡です。